

PiCCeSS+

Picture Success Magazine

<http://piccess.jp>

2018 Jul.

No. 169

ピクセス



特集

PHOTONEXT 2018 写真ビジネスに 新展開を

富士が世代別攻略法を提案 傾向を見極め最適な商材を

プリントバリエーションの展開という観点では、新しいものは少なかったものの、プリント拡販に向けての提案が見られた。

特に注目されたのは、富士フィルム。プリントの販売に関して一般ユーザーを対象にした調査を行ない、それに基づき、年代別の商品アプローチの提案を行なった。

「被写体別」でプリントビジネスを拡大!、と書かれた提案コーナーを設けた。

これは、先に行なわれた富士フィルムイメージングシステムズの商談会で提案された、6つの被写体別の

攻略法に次ぐもので、今回は、ヤング、ミドル、シニアの3つの世代別という切り口を加えた。

ヤングは、プリントのきっかけとして「贈る」を挙げており、写プライズ提案を、ミドルは、記念日にプリントすることが多いので、シーンに合わせた、シーズンコート提案を、シニアでは、プリント製品の中でLプリントの比率が高いので、その他のカレンダーやキーホルダーなど、Lプリント以外の「楽しみ方」を提案する。といった内容。

各層に対してシーズンごとの仕掛け内容を考えることが重要。ミドル層に対しては、8月にはこうしたアイテムを勧めてみる、という提案。左は、ヤング層に対して、友人とのイベントのプレゼントに、お菓子だけではなく、さりげなくプリントを添えるというアイデア

ノーリツが最新鋭の銀塩機材 機能生かした成果物も徐々に

プリント関連機材も展示されたが、新製品としてもっとも注目を集

めたのが、ノーリツプレジジョンの銀塩ミニラボ「QSS-39」シリーズ。

ノーリツプレジジョンのブースでは、銀塩プリンターの新製品「QSS-3901G/3904G」を展示し、大きな話

題となった。

QSS-3901Gは、Lサイズで約1650枚/時、六切サイズで約423枚/時、四切サイズで約345枚/時の処理能力。一方の同3904G



ノーリットレシジョンは、銀塩ミニラボの新製品「QSS Green III」シリーズをはじめ、インクジェットミニラボの新製品「QSS Green III」(販売中)、「同IV」を展示して注目された。



富士フィルムは、ノンフォトチャネル向けに開発を進めていたフロンティアDE100を核とする簡易プリントシステムを開発させ、お披露目した



は、Lサイズで約2250枚/時、六切サイズで約614枚/時、四切サイズで約501枚/時の処理能力を持っている。

プリントの最大出力サイズは、305×914.4mm。商材としては、ロングロングプリント、カレンダープリント、コラージュプリント、ましかくプリントを基本ラインナップ。工場オプションでトリプルマガジン、クアッドマガジンに対応している。

インクジェット方式のドライミニラボの新製品としては、すでに販売されている「QSS Green III」と初登場の「QSS Green IV」を展示した。

「QSS Green III」は、同社のインクジェット方式ミニラボでは、最速の処理能力を持つ。Lサイズで約1180枚/時、PCサイズで約950枚、六切サイズで約305枚/時、四切サイズで約223枚/時の処理能力を実現。

プリント最大出力サイズは、ロールペーパーで305×1400mm、シー

トペーパーで330×635mm。

2列式のダブルペーパーマガジン搭載。最大幅305mmのペーパーマガジンを2個装着可能となっている。

多彩なプリントに対応、一般プリントばかりでなく、両面プリントを生かしたフォトブックやカレンダーなどの作成ができる。

また、EZコントローラーを使用することでアドビシステムズのDNG変換技術と自社独自の画像処理技術「Accusmart TM」により、他の現像ソフトを使用することなく、RAW画像データから高画質なプリントを出力できる。

「QSS Green IV」の処理能力は、Lサイズで約770枚/時、六切サイズで約285枚/時、四切サイズで約210枚/時。

商材としては、パールペーパープリント、コラージュプリント、まし

かくプリント、カレンダープリント、ロングロングプリントなどをラインナップ。プリントの最大出力サイズは、305×1757.7mm。オプションでダブルマガジン化が可能だ。

また、同ブースでは、付加価値プリントのコーナーを設け、ユニークなプリント展示を行なった。過去のrefocus時代を思い出させる展開に何ともいえない思いが。

一方、富士フィルムでは、先般の商談会で参考展示した、ノンフォト向けのプリントシステムを本格導入に向け、公開した。

システムは、WPSと「フロンティアDE100」をDIコントローラーを介さずにプリント注文可能としたもので、パソコン経由の簡単な操作環境を実現している。

また、機材を利用した新しいビジネス提案を行なうブースも散見された。



POSCALは、ポストカードビジネスを中心にプリントビジネスのデザイン編集、印刷までをワンストップで管理するサービス。既存の店頭サービスに簡単にメニューを加えることができる。加盟店は独自のネットワークで繋がっており、オーバーフローした受注は余裕のある店舗に依頼することができる仕組み。スマホ対応で店頭のQRコードを読むと即注文できる



着物の在庫商品を販売するためのサービス。あらかじめ準備されたモデルのデータに合成着付するというもの。販売したい仮絵羽を反物を送付すると白生地モデルに合成着付。送付する着物の仕立ては不要で現物を撮影、データ上で合成、完成した着姿データが送られてくる仕組み



パノラマあるいは360度カメラで撮影するサービス。韓国の写真関連イベントでは数年前に見たことがあるが、国内で見るのは初めて。データ渡し



キヤノンマーケティングジャパンのブースでは、PIXUS PROによる証明写真システムの紹介も行なわれた



「移動写真プリント店 あちこちプリント」。プリント機材を車に搭載して、あちこちを巡回するモバイルビジネス提案



三菱製のブースで見かけたOKIのプリンターを活用したTシャツプリントシステム。よくあるシステムではあるが、下地を一度プレスして、その上に金や銀を印刷すると豪華な感じに仕上がる。右のようなプリントも立体的でクオリティの高いものができるようだ

銘名印刷のブースで展示されたCSPキューブのスマホケースのプリントシステム。通常はインクジェットなどで直接印字が一般的だが、これは、一度転写プリントに印字した素材を専用機器で熱を加え転写圧着する方式。角の部分まで印刷がなされ、これまでにない美しい仕上がりが期待できる



キヤノンは、ImagePROGRAPHおよびPIXUS PROによるプリント提案を行ったが、今回、PIXUS PROによる証明写真サービスの提案も行なわれた。

POSCALは、写真付加価値商材によるビジネスを自店のプリントビ

ジネスに手軽に付加できるシステムで、顧客は、店頭端末に表示されたQRコードをスマホで読み取ることで、スマホからのTシャツ、マグカップなどの付加価値商材を含めたプリント注文ができるようになる、というもの。

このほか、パノラマ、VR撮影によるウエディング関連商品の作成や、「移動写真プリント店」なるユ

ニークな提案も見られた。

ウエディングのVR撮影については、ようやくこの手が出てきたという感じ。VRの活用はまだまだこれから。

「移動写真プリント店 あちこちプリント」は、プリント機材を積んだ車で、各イベント会場などを巡回してプリントサービスを行なうというもの。

撮影ビジネスに奥行きプラス DreamPages導入で活力を

DNPフォトイメージングジャパン

DNPフォトイメージングジャパンは、PHOTONEXT2018に出展し、DNPのフォトブック DreamPages（ドリームページ）関連商品をメインに多彩なプリントビジネスの提案を行なった。今回の出展の目的は、従来の商材、サービスなどの提案を改めて掘り下げて提示すること。来場者ひとり一人に語りかけ、来場者も熱心に耳を傾けていた。



無償ソフト活用で売上げ増を カレンダー、ポスターも戦力

DNP フォトイメージングジャパンがブースを出展し、DreamPagesのフォトブックやカレンダーそして昇華型フォトプリンター「DS620」「DS820」を活用した多彩な内容のプリント受注システムの紹介を行なった。

DreamPagesのコーナーでは、このイベントの主たる来場者であるスタジオや写真館を対象に、撮影した写真を使ってのDreamPagesのフォトブックをさらに数多く作ってもらうことを提案。

商品として、扱いやすく親しみやすい DreamPages のフォトブックを取り入れることで、さらなる売上を確保してもらおうと、商品アピールを行なった。

さらに写真店や小売業向けにも 1

冊から注文可能、簡単にでき、品質・価格も納得できることを訴求した。

フォトブックのコーナーでは、面質の違いによる表現力の差異を手にとって感じ取ってもらおうと、グロス、マット、ナチュラルの3種類の面質の異なるペーパーで作成したフォトブックを展示。同じサイズでも用途によって質感を選択できる幅の広さを提示した。

DreamPagesのフォトブックには、「B5サイズ」というラインナップがあるが、もっとも特長的なのは、使用ペーパーにしっかりと感のある高級ポストカード用紙を採用していること。

レイフラットシリーズでは、ハードカバーに加えて、昨年夏にリリースしたソフトカバー（A5サイズ）のアピールに力を入れた。

見開きで見られるフォトブックの価格を抑えることで、買い求めやす

くしている。

また、業務用のフォトブック作成ソフト「DreamPages EX2」の無償提供を訴求した。

「DreamPages EX2」が無償提供されることで、システムの導入のハードルがグッと低くなり、スタジオや写真館における基本ビジネスにプラスできる商材となることをアピール。

さらに、DreamPagesの製品ラインナップとしては、カレンダーも改めて丁寧に紹介した。今回は、来場者にカレンダーの内容をじっくりと見てもらおうと、専用のコーナー作りにも力を入れた。

DreamPagesのカレンダーは、写真を入れるだけで簡単に作成でき、即座に店舗メニューに加えられるのが大きなポイントになる。

カレンダーでは、A2横タイプのポスターカレンダーをラインナップ



3種類の異なる面質を用意しており、使用目的によって選択できることを改めてアピールした



B5サイズは、しっとり感のある高級ポストカード用ペーパーを使用しており、独特の風合い、手触り感を楽しんでもらうことができる



レイフラットシリーズにソフトカバータイプが登場、買い求めやすさを訴求した



A2サイズという大きなサイズのカレンダーを紹介。同サイズでのポスターも作成できることもアピール



「DT-T5」では、テンプレートやアルバム、プリントモードがさらに充実した



昇華型フォトプリンター「DS620」「DS820」、店頭プリント受付端末「DT-T5 j」、証明写真ソフトウェア「Easy ID Software IDX v2.3」などが紹介されたコーナー



観光地やスタジオ向けの撮影画像販売のシステムを紹介。データ付きプリント販売や即日データ渡しのビジネスが即座に可能となる

に加えたほか、A2サイズの写真を活かしたポスターもできることを提示した。

プリント受注システムが充実 証明写真、データ販売も訴求

プリント受注システムも展示され

た。店頭プリント受付端末「DT-T5 j」が展示されたが、A4のテンプレートを増やしたことをアピール。

背景合成機能でさまざまな背景色に対応、付加価値の高い証明写真を提供できる、証明写真ソフトウェア「Easy ID Software IDX v2.3」も紹

介した。

このほか、月額利用料のみで始められ、データ付きプリント販売が行なえる、観光地向けの撮影画像販売システムや即日データ渡しが可能なスタジオ向けの同様のシステムの紹介が行なわれた。



アクリルを表紙に使ったアルバムは、以前からあるが、アクリル採用のアイテムがアルバム以外にも小型のものを増やしているところが増えてきている。



飾ることを前提にしたアルバムもいろいろ出てきている。これは、木枠のスタンドに入ったアルバム。表紙はアクリル採用。



アスカネットの新たな写真表現のブックレット「フォトレット」。オリジナルデザインのできる付属の専用封筒が付随するのがポイント。個展やイベント開催の時に、作品紹介や展覧、販売目的に作成される作品集などに便利としている。



白いアルバム、も目につく。右が富士フィルムの「ユポアルバム」左がラボネットワークの「cotowa」。いずれも使用ペーパーにこだわり、白色のエレガンスさとしつとく感じる質感をポイントとしている。

フォトブック、アルバム着実に素材にこだわり、質感重視も

今回もフォトブックおよびアルバムの展示が行なわれた。

フォトブック関連では、もはや新しいタイプが次々に出てくるという状況ではないので、なかなか記事にしにくいですが、いくつか動きはある。

富士フィルムがフォトジンを展示したが、新製品として「スリムサイズ」を展示。スマホの画像を手軽に出力できるユニークなアイテムとして注目を集めた。

また、アルバムの展示では、流れとして感じられるものがいくつか見かけられる。

1つは、表紙などにアクリル素材を使ったもの。以前からも流行になっていたが、さまざまなタイプで幅広くこの仕上げ方法を使ったものが見受けられるようになった。

また、ラボネットワークは、コンセプトを「写真はインテリアになる」とした新しいタイプのアルバム「cotowa」シリーズを展示。写真が主役になる写真集のような暮らしに溶け込む新アルバム、としており、

体裁は、本棚に収まりやすいレターサイズのアルバム。

使用ペーパーにもこだわり、保湿感のあるさわりごちが特長となっている。

全体に白いイメージで、ペーパーも感触に特徴を持たせているが、この微妙なニュアンスは、富士フィルムの「ユポアルバム」もそう。

写真表紙のハードカバー仕立てのアルバムだが、使用ペーパーは、高い白色度で写真が映え、しっとりとした質感を持つ仕上がりとなっている。これも1つの新しい流れか。